

### Ⅲ 河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

#### 1 令和2年度（2020年度）河川工作物アドバイザー会議の開催状況

以下のとおり、会議を実施しました。

- (1) 第1回会議（令和2年（2020年）9月28日（月）～9月29日（火）羅臼町・斜里町）  
現地検討（羅臼川、チエンベツ川、サシルイ川）及び室内会議を行いました。
- (2) 第2回会議（令和3年（2021年）1月19日（火）札幌市）  
第43回世界自然遺産委員会決議の対応の報告、長期モニタリング調査報告、ルシャ川の取組（ダム改良及び河床路）、第二次検討ダムの改良について議論を行いました。

#### 2 第43回世界自然遺産委員会決議の対応について

第43回世界自然遺産委員会 知床に関する決議文及び提出された保全状況報告書について報告しました。

#### 3 長期モニタリングについて

##### (1) 長期モニタリング実施計画に基づく調査

「淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況」

42河川での調査が平成30年度（2018年度）より2巡目となり、今年度は12河川の魚類・物理環境調査を実施しました。

平成30年度（2018年度）から実施している環境DNA調査については、今後も継続実施していく予定です。

##### (2) 長期モニタリング計画の評価項目の評価

評価シート(案)で評価値2.5としたこと、遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等、今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見を報告しました。

#### 4 ルシャ川の取組について

##### (1) ルシャ川ダムの改良

昨年度から着手したダムの改良工事について、第3ダムの幅40mを切下げ（H=1.7m）、第1ダムの下流部の落差対策を実施しました。

来年度の工事は、第2ダムの幅40mの地中部までの撤去（H=1.7m）を予定しています。

##### (2) ルシャ川河床路の状況

降雨による増水のため、雨水が河床路を通水したことにより路体の石組が一部流出したことから、路体の修復に併せて、路盤材の流出による走行性悪化を改善するため、凹凸部に20cm内外の石を練り込みで組んで間詰めする改良を昨年からの予定どおり実施しました。

引き続き河床路の耐久性、走行性及び魚類の遡上環境等をモニタリングするため、実証実験を継続します。

#### 5 第2次検討ダムについて

##### (1) オッカバケ川ダム改良

2基のダムのうち上流側の2号ダムについて、昨年度に引き続き人力作業により改良（H=1.2m

の切下げ)を実施しました。引き続き河川環境等の定点観測を実施します。

また、下流側の1号ダムの改良を検討するにあたり、「河川変動予測ソフト (iRIC)」を活用したシミュレーションを行い、溪床の変動等による保全対象への影響を確認します。

## (2) イワウベツ川ダム改良

改良にあたって、老朽化が見られる対象のダムの現況調査、測量、産卵環境調査を実施しました。

また、改良方針を定め、改良工法(案)について検討しました。

来年度以降、具体的な構造設計等に着手する予定です。

## 6 今後の予定

令和3年度(2021年度)は河川工作物アドバイザー会議を2回開催する予定です。